

事故の収束を願う

東日本大震災で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

福島で事故で現地では、避難した方々も不便な生活に懸命に耐えておられ、また不眠不休の作業が、今も続けられています。

多くの町民の皆さんも、一刻も早い事故の収束を願う、祈るように見守っていることと思います。

町長も「冷静に受け止め、まずは事態の収束を願う」としており、これは多くの上関町民の気持ちをよくみ取ったものだと思います。

このように、現地の人たちの心情を本当に考えるのであれば、今は一刻も早い事故の収束こそを願うべきときではないでしょうか。

一方で、原子力反対派は、中電や山口県に対し、福島の事故を理由とした上関原電の建設中止を、ここぞとばかりに連日申し入れを行い、自分たちの主張を声高に訴えています。このことについて、皆さんはどのように思われますか。